

地形・地質

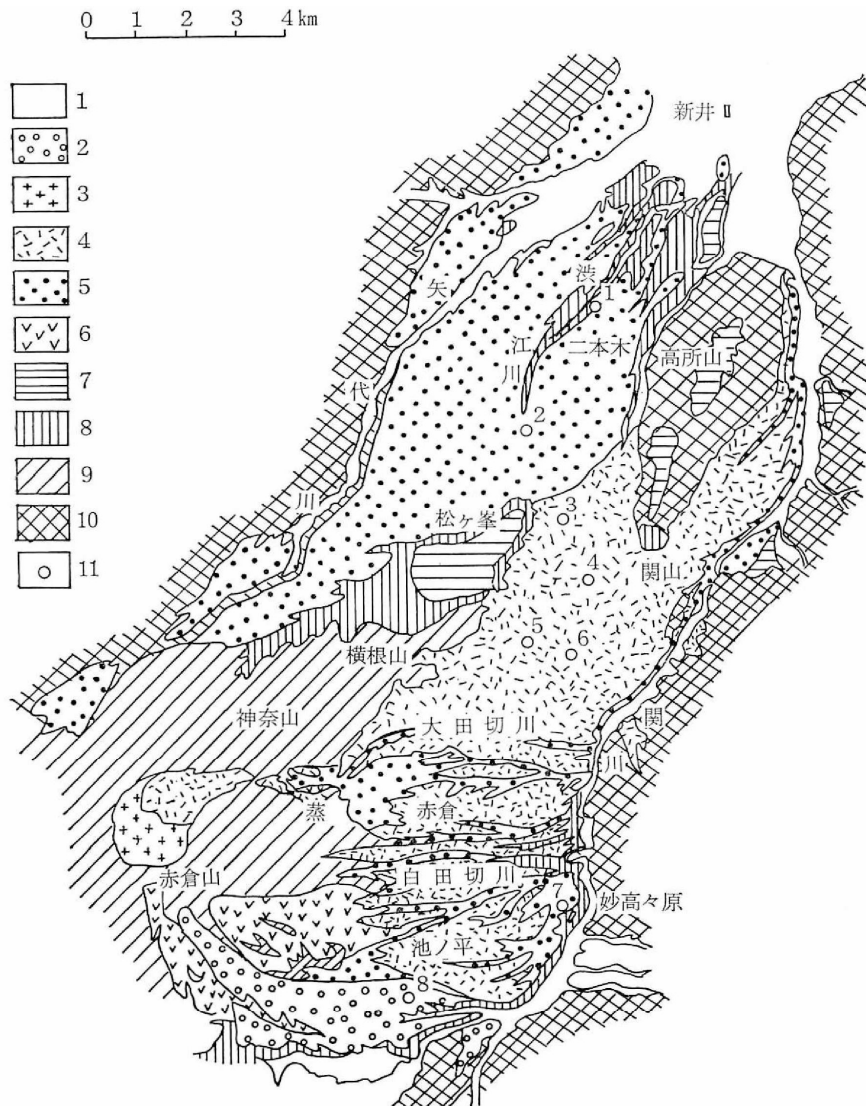
妙高火山は新潟県西部に位置し、標高 2449m の妙高山を中央火口丘とする二重式火山です。妙高火山の東側から北側にかけて延長 15km、幅 3~4km の裾野が広がっています。妙高火山は古妙高火山と新妙高火山に大別され、後者はさらに第Ⅰ期~第Ⅳ期の活動期に細分されています。

妙高火山の地質層序表

時代	妙高火山形成過程	南麓 (妙高高原町)	東北麓 (妙高村)	北麓 (中郷村, 新井市南部)	
完新世	中形中央火口丘史	杉野沢泥流	大田切火砕流		
	四	赤倉火砕流			
更新世	カルテラ期	田口泥流	関川泥流	矢代川泥流	
	新期	上部	ローム		
		シブタミ川火砕流	中部	ローム	二本木泥流
	新成層火山	第二期	田切泥流		
第一期		白田切火砕流	片見川火砕流	澁江川火砕流	
鮮新世	古妙高火山	魚沼層		魚沼層	
	中新世	先魚沼層			

## 地下水

最も新しい火砕流である大田切川火砕流を帯水層とする井戸と、それより古い（主に第Ⅱ期以前の）火砕流を帯水層とする井戸が主です。



- 1: 沖積層 2: 杉野沢泥流 3: 妙高山溶岩 4: 大田切・赤倉火砕流 (3、4は中央火口丘形成期堆積層) 5: 矢代川、関川、田口泥流 (二本木泥流を含む) 6: シブタミ川火砕流、西川谷溶岩 7: 降下火山灰(ローム) 8: 渋江川、片貝川、白田切火砕流 9: 外輪山形成溶岩類 10: 魚沼層および第三紀層 11: 主な井戸、ボーリング地点

妙高火山東北麓の地質図

出典 日本の地下水（農業用地下水研究グループ,1986）（一部加筆）

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記のWeb ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html>（日本地下水学会）